

単元

「衣服の手入れ」

発問する場面

衣生活「衣服の手入れ」の導入

一日着用した制服。見た目には、たいした汚れは見えず、においも悪くない。今日は汗もかかなかったし、、、。明日も着れるのでは？と投げかけられるが、実は目には見えない汚れがたくさん付着していることに気付いた場面。

思考を深める問い

衣類に付着した汚れはどのような仕組みできれいになっているのだろう。

ねらい・効果

○衣服に付着した汚れはなぜ洗剤で落ちやすくなるのだろうか。その仕組みを可視化し、洗剤の働きや界面活性剤の役割について理解させる。

○洗剤は、衣類に付着している汚れを除去しやすくするために用いられるが、濃度が高すぎても洗浄効果は変わらない事にグラフを見て気付き、環境に配慮した使用について考える。

○被服は管理や手入れの工夫によって長期にわたる着用が可能となる。環境に配慮した衣生活について考え、実践できる力を身に付けさせるためにも科学的に理解させる。

生徒の反応（いずれかに○をつけ、追加で説明が必要があれば記入）

思考がよく深まった（ ○ ） 思考が少し深まった（ ） 深まらなかった（ ）

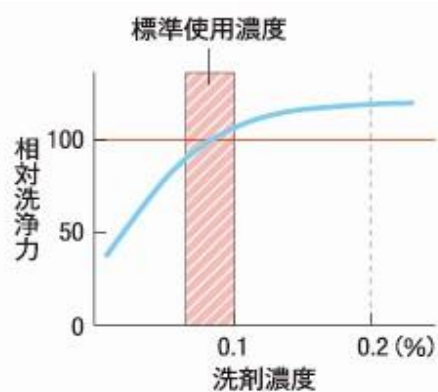
（追加説明）

自分の衣服を適切に管理したり、手入れしたりすることが環境に配慮することにつながるのなぜだろう。

添付資料等（図や写真、URLなど参考になるものがあれば添付）



5時間しか着てないのに、汚れを「見える化」したら、とんでもないことになっている！！し...



汚れの落ちる仕組み

